

ブリーフィング資料

《全日本》

1. ピットレーンの制限速度は60km/h です。 速度制限開始ラインは、ピットレーン入口のホワイトライン、速度制限終了ラインはピットエンドラインとなります。
2. コースインについて
コースインの際にはピット出口右側ホワイトラインを跨がずに本線に合流し、2コーナーを通過するまでコース左側を走行すること。
ST600、ST1000、JSB1000 の公式予選時は、ピットレーン出口で一旦停止し、オフィシャルによるタイヤマーキングステッカーの確認を受けてからコースインすること。
3. ピットインについて
ピットインの場合は、最終コーナー進入時にコース左側に寄り、手や足で合図を出してピットインすること。 ピットレーン入口のホワイトラインを横断しないこと。
4. ライトパネルについて
全ポストに旗信号の補助として、ライトパネルを使用しますが、旗信号が優先されます。
5. ショートコースについて
第2ヘアピン(10 番ポスト～10.1 番ポスト)からショートコースを使用し最終コーナー側へ合流しないこと。
6. スタート練習について
 - ・ART走行・公式予選・ウォームアップ走行・決勝レースサイティングラップ時に、ピットレーン出口左側からコースに合流するまでの区間でスタート練習を行うことができる。(後方確認し、ピットアウトしてくる車両に注意すること)
 - ・各セッションのチェッカー後、2 番ポスト先～2.5 番ポスト先付近までの進行方向右側でスタート練習を行うことができる。
7. 公式予選について
 - ・車両トラブル等にてオフィシャルにて回収された車両は、車検員によるダメージチェック後、車検場横の回収車両引渡場でピットクルーに引き渡す。また、サービスロード(緊急用通路)は進行方向左側のみです。トラブル等で停止する場合はコース左側に停車いただくと回収がスムーズです。
8. サイティングラップ終了後にグリッドに移動する場合は、グリッド後方で赤旗を持ったオフィシャルが立っている場所で、一旦停止し、エンジンを停止後、手押しで所定のグリッドに移動すること。その際、ライダーが乗車した状態で、チームクルーが押し歩くことは可能です。

9、反則スタートについて

スタートシグナル赤点灯、2～5秒後、赤消灯にてスタート

スタートシグナルの赤が点灯してから消灯するまでの間に動いた場合、反則スタートと判定する。

反則スタートに対するライドスルーボードは、フラッグタワー (YAMAHA タワー) 下のコンクリートウォール上と、10 番ポストの2箇所にて提示する。

10、セーフティーカー導入について

使用車両・・・TOYOTA GR スープラ (サブで LC500 を使用する場合あり)

・決勝レース中待機場所・・・通常時はピットエンドに待機する。

※決勝レーススタート時のアクシデントに備え、スタート時に限りショートコース内に SC が待機する。

・セーフティーカー退去後のレース再開ラインはフラッグタワー (YAMAHA タワー) 前のコントロールラインとなります。

11、チェッカーフラッグ

チェッカーフラッグはコントロールライン (YAMAHA タワー) とその下部から提示される。チェッカー後はレクサスブリッジを通過するまで減速せず、そのままのスピードで走行する事。

12、車両誘導予定 ★1～3 位: メインストレート中央に停車。(ポディウム前)

車両は暫定表彰式終了後、車検場へ。

※最終コーナーから十分に減速して停車してください。(ウイリー禁止)

★再車検対象車両: オフィシャルの誘導に従い車検場へ直行。その他の車両は、各自のピットへ。

・表彰式は、コース向かい側のポディウムにて行います。対象ライダーと優勝チーム監督の1名のみ中央ゲートからコースを横断して、暫定表彰式会場へ移動可能です。

13、過去のレースイベントにおいて、給油中に発火するトラブルが発生しております。今一度給油手順の見直しと、燃料の取扱いについて、細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

以上